

- ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をお読みください。
- この取扱説明書は大切に保管してください。
- 組み立てる前に電源を入れないでください。
- 照明器具の取付け及び修理は、必ず電気工事店等の専門家にご依頼ください。

注意

照明器具を箱から取り出す際に、ペーパーシェードを傷つけないよう十分気をつけてください。本体を止めているストッパーを取り除き、本体を取り出してください。

組み立て終わるまで電源に接続しないでください。

Gaku

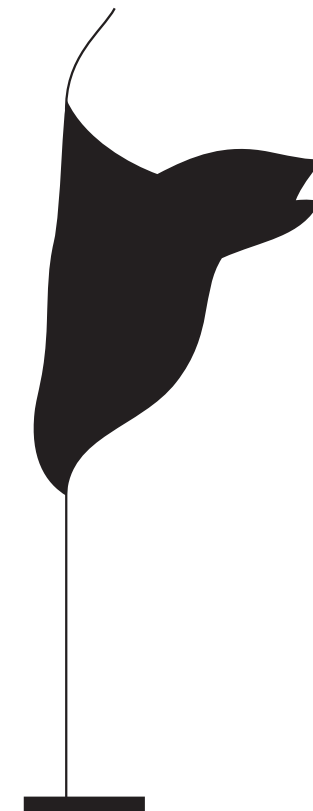
デザイン：Dagmer Mombach
Ingo Maurer and team

光源：ローボルトハロゲン球 12V-50W (GY6.35)
トランス：調光器付電子トランス

インゴマウラー 日本総代理店

StudioNOI
スタジオノイ株式会社

東京都港区南青山3-10-7
青山ホワイトテラス 〒107-0062
Tel.03-3401-4826 Fax.03-5775-1675
www.studio-noi.com



Gaku

＜ペーパーシェードについて＞

器具の和紙は天然の素材で作られたもので、まれに見られる表面のキズは、製造過程で生じたものです。ペーパーシェードは、伝統的な日本の織物の染色法に基づき（最高8段階の処理工程を要する）、その加工法は特許を取得しています。一見同じに見えても、実際にはひとつひとつ微妙に異なっています。

ペーパーを美しく保つには、次のような点にご注意ください。

- 湿気のある所での使用は避けてください。浴室、台所、その他湿気のある室内では使用しないでください。
- 直射日光の当たる場所や乾燥しすぎる場所での使用は避けてください。
- ペーパーシェードは傷つきやすいですが、必要があればそっと引っ張り伸ばすことができます（図①）。ペーパーを伸ばしすぎないでください。伸縮性が失われ、元の形に戻すことができなくなります。
- 「誤った」方向（折り目と反対の方向）にペーパーを折りたたまないようにしてください。繊維をいためることになります（図②）。

場合によっては、シェードが理想的な形になるまでしばらく時間がかかることがあります。表面に触れるとへこみがでることがありますが、裏側から指でそっと押すと、へこみが消えて元通りになります。

＜電球とガラス筒の取り付け＞

⚠ 注意

素手で電球に触らないでください。器具は必ずガラス筒を取り付けてからご使用ください。ガラス筒なしで使用すると、ペーパーシェードが過熱し火災の原因となることがあります。

片方の手でソケットをしっかりと持ち、もう片方の手で台座クリップに電球とガラス筒を取り付けます。電球とガラス筒が所定の位置に取り付けられていることを確認してください（図③）。

⚠ 重要

ペーパーシェードがソケットや電球及びガラス筒に触れることがないように、常にペーパーシェードが所定の位置にしっかり取り付けられていることを確認してください。

誤った位置で使用するとペーパーシェードが過熱して焦げたり、火災の原因となることがあります。

＜トランスへの接続＞

2本のコネクターをトランスに差し込みます。コネクターが正しく接続されていることを確認してください。

＜電球の交換＞

⚠ 注意

電源を切り、完全に器具が冷めてから行ってください。電球は素手で触らないでください。

片手でソケットをしっかりと持ちながら、もう片方の手でガラス筒を外し、電球を交換してください。ガラス筒を元に戻します。ガラス筒と電球が正しい位置に取り付けられていることを確認してください（図③）。

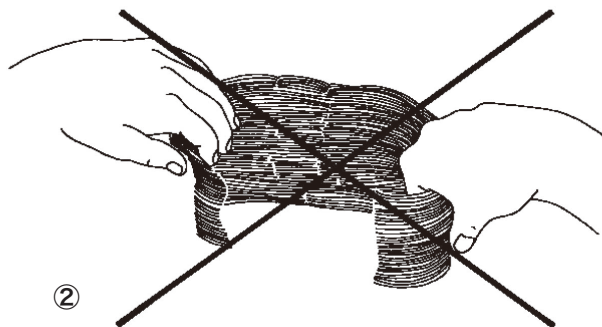
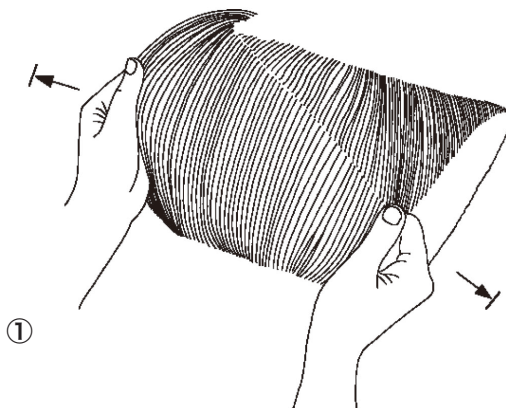
⚠ 重要

ガラス筒が破損した場合は取り替えてください。

＜クリーニング＞

⚠ 重要

シェードのお手入れには、必要に応じて軽い毛はたきや絵筆を使用してください。濡れた布やスポンジ等は絶対に使用しないでください。金属部分は乾いた布で拭いてください。



③

